



令和5年度
日本海岸林学会酒田大会
講演要旨集



期日

令和5年10月28日, 29日

会場

東北公益文科大学酒田キャンパス

【研究発表会 プログラム】

発表 No.	発表タイトル, 発表者名(敬称略)	ページ
座長:新田 響平 (秋田県林業研究研修センター)		
O11	低密度植栽と低コスト樹幹注入法による海岸クロマツ林維持管理法の試案 小倉晃・江崎功二郎・丸章彦	8
O12	樹幹注入の海岸マツ林へのアクセス —超かんたん注入のメリット— 江崎功二郎・小倉晃・丸章彦	10
O13	鳥取県海岸砂丘地の松くい虫被害跡地に侵入した下層植生 増田晃久・山中啓介	12
座長:野口 宏典 (森林総合研究所)		
O21	静岡県の海岸林再整備地における植栽木の生残と土壌環境の関係 萩野裕章・猿田けい	14
O22	鳥取県の海岸砂丘地に植栽されたスタジイの生存要因の解析 田中泰介・山中典和・寺本宗正・山中啓介	16
O23	東日本大震災の津波で被災した海岸林再生の取り組みと活動の意識に関する調査 —宮城県亘理町立長瀬小学校「総合的な学習の時間」の亘理町海岸林における体験 学習の事例— 今井勇雄・後藤忍	18

発表 No.	発表タイトル, 発表者名(敬称略)	ページ
進行: 山中 啓介 (鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター)		
コアタイム: ① P11, P12, P13 ② P21, P22, P23		
P11	Typhoon-related Tree Damage and Conservation Implications for Homestead Windbreaks on the Ryukyu Archipelago: - A Case Study of Yonaguni Island, Japan - Bixia Chen	22
P12	過密化した天然更新クロマツ林に対する超強度伐採の効果 新田響平・金子智紀	24
P13	生育基盤盛土に植栽されたクロマツの根返り耐性 野口宏典・小野賢二・新田響平・平野恭弘・谷川東子	26
P21	名名勝に指定された海岸クロマツ林の現状と課題 — マツザイセンチュウ病による被害 と稚樹の更新立地 — 藤原道郎・趙 星一	28
P22	津波被害を受けにくいマツ林の仕立て密度はどのくらいか —クロマツ密度試験地の生 育状況から— 田村浩喜・新田響平・真坂一彦・金子智紀	30
P23	山形県庄内海岸クロマツ林の林況把握における航空レーザ測定の有効性 伊藤聡・藤城彰人・世古口竜一・菊池俊一	32

【公開シンポジウム プログラム】

共催：東北公益文科大学 地域共創センター 防災・環境部会
出羽庄内公益の森づくりを考える会

第一部『東日本大震災からみた海岸林の津波減災機能と再生の10年』

海岸林のもつ多面的機能のうち、東日本大震災において注目された津波減災機能についてあらためて紹介すると共に、その後の海岸林の再生の様子や学会活動での「将来の海岸林」についての議論につきましても紹介します。

第二部『庄内海岸松原再生計画の現状と課題』

庄内海岸砂防林の現状と庄内海岸松原再生計画の概要について紹介し、施業管理指針の改正といった実態と計画の現状と課題について報告します。

タイムスケジュール（会場：東北公益文科大学 教育研究棟 3F, 301 大教室）	
13:00～13:05	開会の挨拶
13:05～14:05	第一部『東日本大震災からみた海岸林の津波減災機能と再生の10年』
	進行 萩野 裕章 氏(森林総合研究所東北支所)
	話題提供
	① 津波に対する海岸林の防災機能 坂本 知己 氏(元森林総合研究所)
	② 震災後の動き①ー静岡県遠州灘における防災造成事業の事例ー 鷲山 立宗 氏(静岡県農林技術研究所)
	③ 震災後の動き②ー北海道白糠町での事業事例ー 岡田 穰 氏(専修大学商学部)
	④ 震災後の動き③ー学会としての動きー 佐藤 亜貴夫 氏(国土防災技術株式会社)
質疑応答	
14:05～14:15	休憩
14:15～15:45	第二部『庄内海岸松原再生計画の現状と課題』
	進行 岡田 穰 氏(専修大学商学部)
	話題提供
	① 庄内海岸林の現状と課題及び松原再生に向けた取り組みについて 尾形 俊成 氏(山形県庄内総合支庁森林整備課森づくり推進室)
	② 庄内海岸松原再生計画の概要とその意義 呉 尚浩 氏(東北公益文科大学公益学部)
③ 庄内海岸林施業管理指針について 梅津 勘一 氏(庄内海岸のクロマツ林をたたえる会)	
質疑応答	
15:45～15:50	大会閉会の挨拶